

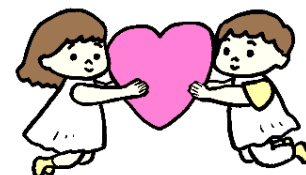
御田小 研究だより

令和3年11月2日
港区立御田小学校
校長 小林 功明

御田小学校では、今年度「自分も大切 みんなも大切 ～他者のよさや考えを認め、主体的に自分の考えを伝える児童の育成」をテーマに校内研究を行っています。

高学年の目指す児童像

- ★互いのよさを認め合う児童
- ★互いの考えを認め合い、よりよい考えを導き出そうとする児童



第3回 研究授業報告

10月15日（金）5年1組 授業者 永野 倫子
図工科「ミラーワールド」

【授業のねらい】

○鏡に映る画用紙やパーテーションの使い方を生かしながら造形的な活動を思い付き、自分の表現を深める。

【授業の工夫】



一人一人のよさを引き出す工夫

お互いの活動を鑑賞し合う時間を設定し、自分では気付かない表現の良さや友達の表現の良さを感じ取ることで、自分の活動時に自信をもつことができたり、新たな発想につなげ、表現を深めたりできるようになりました。

関わり合いの場の設定

グループでの活動を促すことで、パーテーション越しに交流が生まれ、新たな活動のきっかけにすることができました。



学びの実感をもたせる工夫・ICT活用

最後にタブレットのカメラ機能で自分の表現を写真に撮り、活動を振り返ることで自分の表現の良さを実感できるようになりました。

〈授業を終えて〉

今回の授業では、お互いの活動に刺激を受けて「〇〇さんの活動が良いから真似してみよう」「もっと繋げてみよう」など児童同士が関わり合いながら活動を深めたり広げたりする姿が多く見られました。

一方、造形的な経験の積み重ねが不足している場面も見られ、発達段階に合わせた造形遊びをもっと授業に取り入れる必要があると感じました。